



東中だより

目指す学校像
キャッチフレーズ

生徒一人一人を大切にし 信頼される学校
蕨東の あいさつ一つで笑東へ

生徒数(名)
男子 194
女子 181
計 375

令和7年度の締めくくりにあたり

校長 阿部 仁

～もうすぐ春本番の予感～

暦の上では春ですが、初夏の陽気となる日があったかと思うと、肌寒い日に逆戻りするなど寒暖の差が大きい日が続きました。一方で、校長室から見える白梅は、早々と1月に見事な花を咲きほこらせ、季節は確実に移行しているのを感じさせます。春本番は、もう間もなくです。

～令和7年度の東中の姿①～

本日を含めて、令和7年度も残すところ18日(課業日のみ)となりました。始業式から数えて183日間(2月27日まで)の教育活動の中には、日々の学習活動だけでなく、様々な学校行事・学年行事等がありました。とりわけ、校内教育支援センターやDXルームが開設されたことで、生徒の居場所が確保されたり、これまでには見られなかったICTを効果的に活用した授業が増えたりするなど、教育環境面では大変革がもたらされました。また、生徒たちの様々な活躍もありました。部活動では、二市大会で団体優勝があったり、とあるコンテストへの応募作品が全国大会に進出したり、数えあげればきりがないうほど、表彰されました。

～令和7年度の東中の姿②～

その一方で、ちょっとした意見の違いから派生した生徒同士のトラブルや、軽率な言動による器物損壊の事案が散見されるなど、落ち着いた学校生活とは言い難い出来事もありました。教職員は日々生徒を見守り、トラブルの未然防止

や相談対応など支援に気を配っていますが、中規模程度の生徒数を抱える本校にあっては、365日何事もなく平穏無事とはいかないのが現実です。それでも、前述のような事案発生を見るにつけ、私たち教職員はえりを正して、改めて生徒一人一人に「他者への配慮」や「節度ある行動」の大切さを指導していく必要があると反省しています。

～今年度の仕舞い方～

3学期当初の職員会議において、私から先生方に一つをお願いをしました。それは、「仕舞い方を意識する」ことです。3学期は学校暦でいうところの1年間のまとめの時期と同時に、年度の終わりでもあります。この「終わり」をどのようにとらえ、どう「終結」させるのかが大事であると私は考えていて、それを「仕舞い方」と呼んでいます。「衣服を仕舞う」ことを頭に思い描くとわかりやすいかもしれません。丁寧に畳んだ場合と無造作に収納した場合の違いは歴然だと思えます。衣服など物に寄らず、私たちの活動や環境にも「あるべき一定の仕舞い方」が存在します。残り18日間(3年生は10日間)で、令和7年度をどのように閉じる(仕舞う)のか、その結果は、次年度のスタート時点で明らかになることでしょう。

結びに、この1年間、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきましたことに深く感謝いたします。ありがとうございました。今後とも、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

—了—